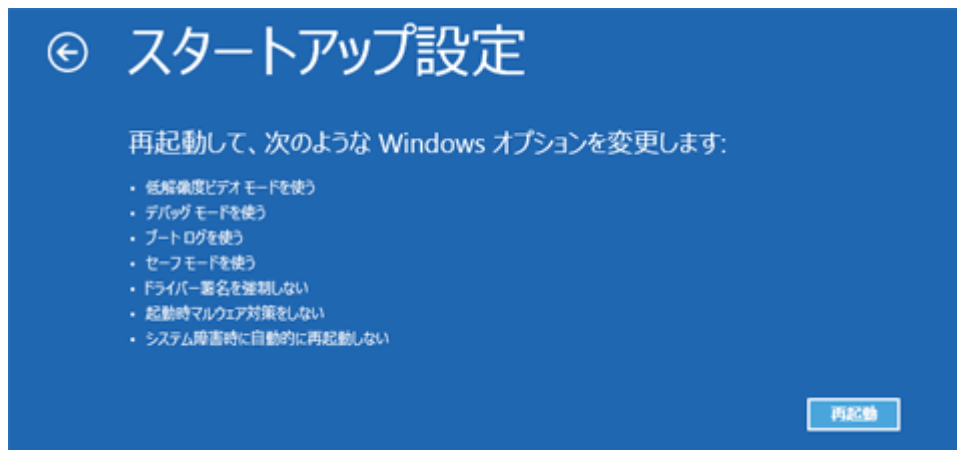


Windows8 での Ruskin インストール(署名のない USB driver)

1. Ruskin をインストールする。機器はつながずに、Ruskin を閉じる。
2. [チャーム]>[設定]>[PC の設定変更]
>[全般]>[PC の起動をカスタマイズする]>[今すぐ再起動する]
>[トラブルシューティング]>[詳細オプション]
>[Windows のスタートアップ設定]を開く
3. 下の画面が出たら、再起動



4. PC を再起動させて、下の画面で「7) ドライバ署名の強制を無効にする」を選択する。

スタートアップ設定

オプションを選択するには、番号を押してください

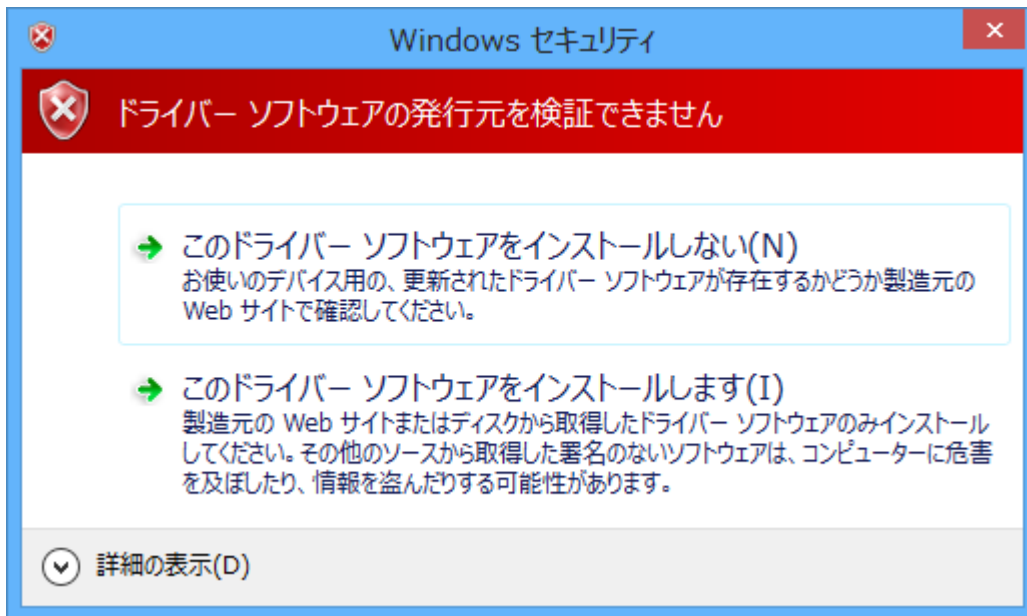
番号には、数字キーまたはファンクションキーのF1からF9を使用します。

- 1) デバッグを有効にする
- 2) ブートログを有効にする
- 3) 低解像度ビデオを有効にする
- 4) セーフモードを有効にする
- 5) セーフモードとネットワークを有効にする
- 6) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
- 7) ドライバー署名の強制を無効にする
- 8) 起動時マルウェア対策を無効にする
- 9) 障害発生後の自動再起動を無効にする

その他のオプションを表示するには、F10キーを押してください

オペレーティングシステムに戻るには、Enterキーを押してください

5. 再起動が完了したら、再び Ruskin を起動する。
6. 機器を接続する。(まだ機器は認識されません)
7. デバイスマネージャの画面をコントロールパネル等から開く。
8. RBR instrument USB....を右クリックし、ドライバーソフトウェアの更新を選択。
9. 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択。
10. C:\RBR\Ruskin\L2driver のフォルダを指定する。
11. 下の画面が出たら、「インストールします」を選択。



12. ドライバインストール後、Ruskin をいったん終了して再度起動すると機器を認識できるようになります